

1. 件名：島根発電所2号機アクセスホールカバーひび発生に伴うシュラウドサポートプレート研磨にて確認された微小なへこみについて

2. 日時：2019年11月14日 13時30分～14時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部 検査グループ 実用炉監視部門

平田上席監視指導官、久光上級原子炉解析専門官、中野主任監視指導官、吉田主任監視指導官

技術基盤グループシステム安全研究部門

河野主任技術調査官、菊池技術参与、坂本技術参与

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力設備グループマネージャー ほか4名

5. 要旨

中国電力株式会社（以下「中国電力」という。）より島根発電所2号機アクセスホールカバー溶接部で確認されたひび事象の復旧作業において、シュラウドサポートプレート研磨で確認された微小なへこみについて以下の説明を受けた。

- H8、H9溶接部に確認された微小なへこみは、丸みのある形状であることから溶接時に生じたブローホールであると判断され、材料、環境、応力の各因子について評価の結果、当該部にSCC発生の可能性はきわめて低く、強度上の影響はないが次回定期事業者検査時に確認する。

原子力規制庁から、研磨部の溶接合金素材を示す等、資料を再提出するようよう指摘し、中国電力より了解した旨の回答があった。

6. 提出資料

資料1：「島根2号機アクセスホールカバー取付溶接部ひび発生に伴うシュラウドサポートプレート研磨における微小な凹みの観察について」

以上